

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立桶川高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。落ち着いた校風や地域との密着の強さなど学校の特色を生かし、学校の現状をより広く把握・分析して、更に具体的なものとなるよう今後も検討を重ねていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校関係者の意見やアンケート結果、中学校からの情報などを基に、生徒の実態など学校の状況を分析した上で、学校の取り組むべき方向を示している。「桶高 One Step ひとつ上の進路実現」に向けた段階的・系統的な指導など、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌等のシートの目標は少なくとも一つは重点目標と連鎖を図って作成するなど、重点目標達成のための取組が進められている。「重点目標、評価項目、具体的方策」の連鎖が適切に行われ、学校自己評価システムが十分機能するよう工夫されている。分掌等で検討される方策等を学校全体のシートへ更にフィードバックして相互の連携を密接にするなど、学校全体と分掌等の連鎖を一層進めると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	全体的に評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されている。分掌等のシートの評価指標について、学校全体の指標との連鎖を明確にして、更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校の現状を踏まえて明確な学校経営の方針を持ち、ひとつ上のランクを目指して学校自己評価システムを活用した学校経営に取り組んでいる。先を見据えて的確にリーダーシップを発揮し、教職員一人一人の能力を生かして教職員集団の結束力を強め、教育課程の見直しを進めるなど、課題解決に向け取り組んでいる。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケート結果や学校関係者評価、地元中学校からの聞き取り調査など、取組を検証するための情報収集を積極的に行い、検証の結果、次年度の評価指標の数値を設定するなど、CAからPDへのつながりを意識して継続的に取り組んでいる。質問内容を年度ごとに見直すなどアンケートの実施目的を明確にし、丁寧に分析した結果を分かりやすく公表して改善・更新に生かすなど優れた取組を行っている。	
特記事項			